



金田英樹町長が、3月議会で令和8年度施政方針を説明しました。抜粋・要約して記載します。町ホームページ「町長の部屋」に全文を掲載しています。

大きな転換期を迎える大津町

本町はいま、大きな転換局面にあります。とりわけ、TSMCの進出とそれに伴う産業集積の進展、さらには阿蘇くまもと空港アクセス鉄道計画の具体化は、本町の都市構造と経済構造の双方に影響を及ぼす歴史的転換点となっています。企業立地や雇用機会の拡大、交流人口の増加など地域経済に

とって大きな好機である一方、交通渋滞や生活環境への影響、地価上昇に伴う住宅取得負担の増加、子育て世代の町外流出など、生活基盤にかかる負荷も顕在化しつつあります。

進めてきた基盤整備と都市計画の見直し

こうした将来変化を見据え、産業基盤、都市拠点、子育て環境、防災力など、まちの土台となる基盤整備を計画的に進めてきました。そして近年、工業団地整備、肥後大津駅周辺整備、子育て支援拠点施設整備、幹線道路拡張、

防犯カメラの整備に加え地域連携による見守りなどの強化など犯罪の起きにくい環境づくりを進めます。また「犯罪被害者等支援条例」により、被害者を町全体で包括的に支える仕組みを整えます。

防災基盤強化など、準備を重ねてきた取り組みが実装段階へ移行しており、新駅設置と周辺開発についても検討を開始しています。本年4月を始期とする都市計画マスタープランは、急速な環境変化に対応するため、計画期間を前倒しして改定しました。あわせて立地適正化計画を策定し、都市機能配置、居住誘導、交通結節の基本的方向性を明確にしています。これに先立ち、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画の策定を完了しており、現在はその内容を都市計画マスタープランと整合させながら、交通結節機能の

第7次大津町振興総合計画の策定

本町の将来像と政策体系を総合的に示す最上位計画として、「第7次大津町振興総合計画」を策定しました。本計画は、本町が目指す将来ビジョン「今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち 大津」の実現に向け、町政運営の各分野における施策の方向性と優先順位を体系的に整理した基本指針です。



強化や阿蘇くまもと空港アクセス鉄道中間駅を見据えたまちづくりの検討、工業団地整備など、都市構造設計の具体化を進めています。

これまで積み上げてきた基盤整備と都市構造設計を、本計画の枠組みのもとで体系的に位置づけ、限られた資源の中で優先順位を明確にしながら、着実に実行へ移していきます。

節目の年として

令和8年度は、大津町が町村合併70周年を迎えるとともに、熊本地震から10年を迎える、本町にとって極めて重要な節目の年です。

各種記念事業を通じ、これまでの歩みを振り返り、感謝の思いを共有するとともに、絆を深めながら、その成果と経験を未来へ確実につないでいきます。熊本地震からの復旧については、岩戸溪谷の遊歩道の復旧や真木簡易水道の公共水道への移管などの復旧事業が一区切りを迎えます。これらの成果を地域活性と安心の確保につなげるとともに、防災・減災の取り組みを改めて見つめ直し、次世代へ教訓を継承していきます。

施政方針全文はこちら



令和8年度の具体的な施策

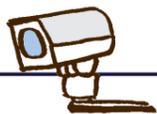
1 命を守る徹底した防災・防犯対策

■安心できる環境整備

道路・河川・排水施設の計画的な整備を進めるとともに、大津町総合体育館のエアコン整備を完了させ、過酷な季節でも安心できる避難環境を整えます。

■犯罪の起きにくい環境づくり

防犯カメラの整備に加え地域連携による見守りなどの強化など犯罪の起きにくい環境づくりを進めます。また「犯罪被害者等支援条例」により、被害者を町全体で包括的に支える仕組みを整えます。



2 子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

■町立認定こども園・子育て支援拠点の整備

昭和園敷地内に整備する「認定こども園」と「子育て支援拠点施設」について、令和10年の開園を目指し工事着手に向けた準備を進めます。

■教育環境の充実と給食費の無償化

大津中学校・大津北中学校の体育館にエアコンを整備します。また、大津南小学校の建て替え(令和12年度供用開始予定)を着実に進めるとともに、国補助金を活用した給食費の無償化に取り組みます。



3 人生100年時代を見据えた福祉

■乗合タクシーを町内全域へ拡大

誰もが安心して移動できるよう、乗合タクシーの運行エリアを町内全域に拡大します。免許返納後も安心して暮らせる、移動弱者を生まない地域づくりを進めます。

■複合的な悩みに対応する「ふくしの相談窓口」

生活困窮、子育て、介護など複数の課題を抱える世帯に対し、関係部署が一体となってサポートする切れ目のない支援体制を継続・強化します。



4 活気とにぎわいを生む仕組みづくり

■肥後大津駅周辺と新駅を見据えたまちづくり

町の顔である肥後大津駅周辺について、駅前広場や自由通路の整備、宿泊・商業・飲食機能の誘導により、交流機能と生活利便性の向上を図ります。また、空港アクセス鉄道の中間駅設置と周辺のまちづくりについて協議・検討を進めます。

■渋滞対策とスポーツ・観光の振興

三吉原北出口線の4車線化など渋滞緩和に取り組みます。また、町総合体育館を拠点としたスポーツ交流の促進や、観光振興に向けた「宿泊税」制度化の検討を進めます。



■持続可能な農業・商業の振興

スマート農業の導入支援や農業団地の整備により生産性向上や生産基盤強化に取り組みます。また、地域事業者の経営・創業支援を通じて、地域内での消費と活力を生み出します。

5 町内産業支援と活性化

■新たな工業団地の整備と既存企業への支援

雇用と経済を支えるため、町北部での新たな工業団地整備(令和9年度分譲開始目標)を進めます。同時に、長年本町を支えてくださっている既存企業の皆さまへの支援も継続します。

6 町民に、より信頼され、愛される役場の実現

■「書かない窓口」とデジタル化の推進

手続きの負担を減らす「書かない窓口」やAIなどの活用により、利便性の向上と業務の効率化を進めます。生み出した時間は、より質の高い政策立案や課題解決の検討に充てていきます。

■文書配布の見直しと情報発信の整理

地域役員の皆さまの負担軽減のため、行政文書の配布を月1回に見直します。あわせて「広報おおづ」と「生涯学習情報誌」を合冊し、必要な情報が確実に届く仕組みを作ります。

